

窓口担当者会議

「SSN指導員のしおりとアクティビティ集」の活用状況 I 日ごろの活動で感じていること

八木千里（千葉市）

日 時：2018年5月8日（火）10:00～12:30 曇り
場 所：千葉市中央コミュニティセンター
参加者：7名

今年度は勉強会ではなくて、この活動を永く継続させ、参加指導員を増やすことを目的に、日ごろ学校関係の窓口になっている方々のご意見やご苦勞を話し合う事にしました。

四街道市の市川さん、千葉市の河添さんたちによって2000年にSSNを立ち上げて来年で20年目になります。当時は県内各地域の学校観察会のお手伝いに行っていたと聞いています。その後地域の指導員だけで学校からの観察会依頼に対応出来るようになったそうです。2009年に「SSN指導員のしおりとアクティビティ集」を指導員協議会とSSNメンバーとで作成し、SSNの精神を共有し、学校からの依頼があった時に使う様式（フォーマット）を作って誰でも学校からの依頼に対応出来るようにしました。地域ごとに立派に観察会が行われていますが、他の地域ではどのようにしているのか、お互いの耳に入っていないとの声があり、横のつながりも必要なのではとこのような企画を致しました。

1回目の会議は東葛、四街道、千葉市の学校窓口担当者とSSNメンバーで会議をしました。まずはそれぞれが地域と学校名と担当学年を紹介し合いました。その時点でもう打ち解けて色々な話題が出てきました。一人が話すと皆頷き合ったり、「そうそううちも」と声に出したりと窓口になっている人たちならではの本音で会は始まりました。

今年は丁度「小学校学習指導要領」が移行される年にあたり、理科編の3、4年生の箇所と、総合的な学習の時間編と生活科編に目を通しました。（これは以前に指導要領を見たいとの意見有）幼稚園教育の総則にも目を通し、幼稚園から小学校への教育のつながりが分かりました。幼稚園総則には命を大切にしようを簡単に。生活編では活動を取り入れてどんなものにも命があるということ学ぶ。総合的な学習は探求的な学習が出来るようにする。理科編は教科的なことが中心。指導要領に目を通した全員の感想は、幼稚園総則にある命の大切さが根本にあり成長段階にあわせてステップアップしていること。まさに自然観察で行っていることだと改めて自信になりました。

理科などは特にですが教科書に沿ってまた四季に合わせた観察会をする。例えば4年生は3年生の時の教科書にどんなことが書かれていたか知っておくと話が進めやすい。自然が大好きなおじさん、おばさんが自然を観察すると楽しいよということをもっと示すのがSSN指導員の役目ではと意見が纏まりました。

次に年度初めの学校との打ち合わせについてです。横戸小学校は観察内容は決まっていますが、毎年担当者が打ち合わせに行っていて、その時には年間計画表が出来ているそうです。四街道市では市内の半数近くの小学校から年間計画を立てて依頼を受けているとのことでした。東葛地域では、年度初めは依頼が来るのかどうか分からない状態だそうです。担当の先生が代わったり、英語が入ってきたりして観察会がなくなるのではと心配していました。

参加者全員が同じような意見を共有出来て充実した担当者会議になりました。皆さんの日頃の努力、勉強が学校からの依頼につながっていると実感しました。